

づか変化したものという。UN I-F-529 (N-pyrrolidino-succinamic acid) が知られている。B-nine より効果が大きく高温でもB-nineのように効果がおちることはない。試験段階であるが、キク、ポインセチア、アザレヤでB-nineより有効であり、将来市場に出るとのことである。Ethrel: エチレンを誘起させるものとして知られる化合物で、近い生長調節剤である。キクでは1000ppmでB-nine2500ppmと同様の効果があり、またUN I-F-529, 5000ppmより有効である。花では、アナナス科植物の開花促進に用いられてい

るが、混用により他の生長調節剤の活性を増加させる。また、アザレヤで摘芯剤としての効果がある。処理には浸漬と散布とがあり、濃度は25~5000ppmが可能範囲である。価格は不明。

他にmorphactinがあり、腋芽の発達を促進するので、摘芯剤として使用される面がある。現在、利用面を知るべく広く試験が行なわれている。花での利用面はまだ未知数である。

AMO-1618, phosphon, CCCについてはH. M. CATHEYとN. W. STUARTによる報告があるので、花についてはK. C. SANDERSONのまとめたものを参考に供する。

昭和45年度水稻作関係除草剤

試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

当協会委託の昭和45年度水稻作用除草剤の試験成績検討会が、昭和45年12月14日~16日の3日間、東京(日本都市センター)において開催されたので、ここにその結果の概要について紹介する。

1. 供試除草剤の動向

本年度供試された薬剤は、普通移植栽培本田用132剤、畦畔用4剤、機械移植(稚苗)用32剤、苗代用12剤、湛水直播用10剤、乾田直播用14剤、畦畔用4剤、休耕田用11剤、合計219薬剤であった。次に、注目される点は、除草剤の混合剤化が目立ち、従前の土壌処理剤と雑草処理剤との組み合わせから土壌処理剤間の混合剤化の傾向がみられる。利用場面、作用特性の面からみると、①処理適期幅が広い、②雑草種類間の選択殺草性が小さく、一年生雑

草と多年生雑草の同時防除、③殺草効果の持続性が長い、④他目的農薬の近接散布が可能、などの点に適する除草剤の開発が盛んであることが注目される。また、植代前土壌混和处理剤が省力化とともに効力の持続性・安定化の点で注目され、有効な除草剤も出現した。

2. 試験結果の概要

本年度供試された除草剤の成分を示すと、第1表の通りである。それらの中で、実用化に移されたものは、普通移植本田用56剤、機械移植用(稚苗)16剤、苗代用5剤、湛水直播用3剤、乾田直播用4剤、畦畔用1剤、休耕田用4剤の合計89薬剤となっている。適用性試験の判定結果は、第2表に示した。実用化の認められた除草剤の使用基準は、第3表に示した通りである。

＜第1表＞ 昭和45年度水稻作関係供試除草剤成分一覧表

I-1. 移植本田一植代前混和

№	除草剤名	剤型	有効成分および含有率	取扱会社
1	B-3015	粒剤	ベンチオカール 10%	クミアイ化学工業
2	B-3015	乳剤	同上 50%	同上
3	BM-3015	粒剤	[ベンチオカール]+[CNP] 7%+6%	クミアイ化学工業 三井東洋化学
4	G-315	粒剤	2-ターシャリブチル-4-(2,4-ジクロロ- -5-イソプロピル-オキシフェニル)-5-オ キシ-1,3,4-オキサジアゾリン 2%	日産化学工業
5	G-315	粉剤	同上 8%	同上
6	G-315	乳剤	同上 25%	同上
7	G-315 肥料A	粒剤	[G-315]+[N, P, K] 0.35%+[12%, 28%, 15%]	同上
8	G-315 肥料B	粒剤	同上 0.18%+[12%, 28%, 15%]	同上
9	N I P	粒剤	2,4-ジクロロフェニル-4'-ニトロフェニルエーテル 7%	東京有機化学工業 三洋貿易
10	N I P	水和剤	同上 50%	同上
11	N I P	乳剤	同上 25%	同上
12	NIP化成肥料4号	粒剤	[NIP]+[N, P, K] 1.6%+[15%, 15%, 15%]	同上
13	TH-1568A	粒剤	2-アミノ-3-クロール-1,4-ナフトキノ 10%	武田薬品工業
14	バラコート	液剤	1,1'-ジメチル-4,4'-ビビリジウムジクロリド 24%	日本農薬 武田薬品工業

I-2. 移植本田一移植前後処理

№	除草剤名	剤型	有効成分および含有率	取扱会社
1	MT-201	粒剤	[MT-101(アニライド系)]+[CNP] 4%+7%	三井東洋化学
2	トリフルラリンA	粒剤	α, α, α -トリフルオール-2,6-ジニトロ-N,N- ジプロピル-P-トルイジン 3%	塩野義製薬
3	B-3015	粒剤	ベンチオカール 10%	クミアイ化学工業
4	BM-3015	粒剤	[ベンチオカール]+[CNP]	クミアイ化学工業 三井東洋化学
5	G-315	粒剤	2-ターシャリブチル-4-(2,4-ジクロール-5- イソプロピル-オキシフェニル)-5-オキシ-1,3,4- オキサジアゾリン 2%	日産化学工業
6	N I P	粒剤	2,4-ジクロロフェニル-4'-ニトロフェニルエーテル 7%	東京有機化学工業 三洋貿易
7	NIP改良A	粒剤	同上 7%	同上

№	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
8	N I P 改 良 B	粒 剤	2,4-ジクロロフェニル-4'-ニトロフェニルエーテル 12%	東京有機化学工業 三 洋 貿 易
9	X — 5 2	粒 剤	2,4-ジクロロフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロ フェニルエーテル 7%	石 原 産 業

I-3. 移植本田—移植後土壌処理(10日以内)

№	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
1	H O K — 7 5 0 3	粒 剤	[PCP]+[HOK-7501] 17%+0.7%	北 興 化 学 工 業
2	S — 4 5 8 6 5 · H O K — 7 5 0 1	粒 剤	[2,4-ジクロロフェノキシアクリル酸シクロヘキシル エステル:S-45865]+[HOK-7501] 9%+0.7%	住 友 化 学 工 業 北 興 化 学 工 業
3	U H — 1 8 0 1	粒 剤	[U-18]+[HOK-7501] 9%+0.6%	宇 部 興 産 北 興 化 学 工 業
4	S H — 8 3 0 1	粒 剤	[ジメチル-2,3,5,6-テトラクロロテレフタレート: TCTP]+[HOK-7501] 9%+0.7%	昭 和 電 工 北 興 化 学 工 業
5	SD-11831·H	粒 剤	[4-(メチルスルフェニル)-2,6-ジニトロ-N, N-ジプロピルアニリン:SD-11831]+[H OK-7501] 2.5%+0.7%	北 興 化 学 工 業 シ エ ル 化 学
6	トリフルラリン A	粒 剤	α, α, α -トリフルオール-2,6-ジニトロ-N, N- ジプロピル-P-トリイジン 3%	塩 野 義 製 薬
7	S L T — 6 8 1	粒 剤	[トリフルラリン]+[MCPアニリド:MCPAN] 1.3%+1.3%	石 原 産 業
8	F — 1 3 4 7	粒 剤	S-(2,5-ジクロロベンジル)-N, N-ジメチルチ オールカーバメイト 5%	同 上
9	M T — 2 0 3	粒 剤	[CNP]+[カーバメイト系] 7%+6%	三 井 東 庄 化 学
10	N C — 3 1 0	粒 剤	[ホルモン系]+[ニトロ系]+[ピリジン系] 1%+2%+5.5%	日本カーバイド工業
11	N C — 3 1 1	粒 剤	[ホルモン系]+[尿素系]+[ニトロ系] 1%+0.8%+2%	同 上
12	PCP·MCP·DCBN	粒 剤	[PCP]+[MCP]+[DCBN] 3.0%+0.8%+0.75%	トリサイド普及会 (北興化学・中外製薬) 日本カーバイド工業
13	N I P 改 良 A	粒 剤	N I P 7%	東京有機化学工業 三 洋 貿 易
14	N I P 改 良 B	粒 剤	同 上 1.2%	同 上
15	N I P Q 改 良 C	粒 剤	[NIP]+[MCPベンジントリエタノールアンモニ ウム塩] 9%+0.5%	同 上
16	N I P — Q	粒 剤	同 上 6%+0.2%	同 上
17	シメトリン 25	粒 剤	2-メチルチオ-4,6-ビス-エチルアミノ-S-トリ アジン 2.5%	ギ ー ボ ン 普 及 会
18	シメトリン・MCPB	粒 剤	[シメトリン]+[MCPB] 1.5%+1%	日 本 化 薬
19	K H — 1 5 9	粒 剤	[2-アミノ-3-クロール-1,4-ナフトキノ-7-メ トン]+[MCPB] 5.2%+5.1%+0.72%	兼 商

№	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
20	NTN-6285A・K	粒 剤	〔カーバメイト系: NTN-6285A〕+〔K:Kue 2079A〕 7%+2%	日本特殊農薬製造
21	NTN-5006 K	粒 剤	〔O-エチル-O(2-ニトロ4-メチルフェニル)N ーイソプロピルチオホスホロアミデート〕+〔新規 K〕 5.5%+2%	同 上
22	NTN-5006 S	粒 剤	〔NTN-5006〕+〔シメトリン〕 (A) 5.5%+2%寒地用 (B) 5.5%+1.5%暖地用	同 上
23	Y K - 4 8 7 6	粒 剤	N-エチルクロロアセトアニリド 7%	八 洲 化 学 工 業 科 研 化 学
24	H O E - 7 3 1 9	粒 剤	尿素系 1.5%	ヘキスト・ジャパン
25	H O E - 7 3 1 9	水和剤	尿素系 50%	同 上
26	ダイアジノン・CNP	粒 剤	〔CNP〕+〔ダイアジノン〕 7%+5%	三 井 東 庄 化 学 日 本 化 薬 クミアイ化学工業
27	ダイアジノン・NIP	粒 剤	〔NIP〕+〔ダイアジノン〕 7%+5%	東京有機化学工業 三 洋 貿 易
28	S - 4 1 5 9	水和剤	2,6-ジ第3ブチル-4-メチルフェニル-N-メチル カーバメイト 80%	住 友 化 学 工 業
29	Z - 6 0	水和剤	ジフェニルエーテル系 40%	石 原 産 業
30	M T - 1 0 3	粒 剤	カーバメイト系 7%	三 井 東 庄 化 学
31	K U E - 2 0 7 9 A	粒 剤	〔K〕 2.5%	日本特殊農薬製造
32	NTN-4570K	粒 剤	〔NTN-4570〕+〔K〕 6%+2%	同 上
33	NTN-4571	乳 剤	カーバメイト系 30%	同 上
34	NTN-4572	乳 剤	同 上 30%	同 上
35	NTN-4573	乳 剤	同 上 30%	同 上
36	C P - 1 9 M	粒 剤	〔ブタクロール〕+〔酸アミド系: MK-6893〕 2.5%+1.5%	三菱モンサント化成
37	M T - 3 0 3 B	粒 剤	〔MT-101〕+〔MT-103〕+〔CNP〕 4%+4%+7%	三 井 東 庄 化 学
38	M T - 3 0 4 A	粒 剤	〔MT-101〕+〔MT-104〕+〔CNP〕 5%+7%+6%	同 上
39	M T - 3 0 4 B	粒 剤	〔MT-101〕+〔MT-104〕+〔CNP〕 4%+4%+7%	同 上
40	B - 6 4 9 4	水和剤	カーバメイト系 20%	クミアイ化学工業
41	N H - 7 0 4	粒 剤	〔NH-6967〕+〔新規化合物〕 5%+5%	日 本 農 薬
42	T O C - 6 5 0	粒 剤	NIP (高含量)	東京有機化学工業
43	S - 5 9 9 2	乳 剤	2,4-ジクロル-4'-ジアノジフェニルエーテル 20%	住 友 化 学 工 業
44	N K - 1 3 8 4 9	水和剤	成分未公開 50%	日 本 化 薬
45	N K - 1 4 6 3 0	水和剤	成分未公開 50%	同 上

№	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
46	T H - 3 5 6 2	粒 剤	含窒素化合物 5%	武 田 薬 品 工 業
47	U - 1 8	粒 剤	カーバメイト系 12%	宇 部 興 産
48	P P - 4 9 3	液 剤	3,5-ジクロル-2,4-ジフルオロ-4-ハイドロキシ ピリジン 20%	I C I . 日 本 農 薬 武 田 薬 品 工 業
49	J - 3 9 2	乳 剤	成分未公開 50%	日 産 化 学 工 業
50	H Z - 5 9 1 4 G 6	粒 剤	成分未公開 6%	エー・メルク・ジャパン
51	K H - 2 2 7 7	粒 剤	成分未公開 5%	呉 羽 化 学 工 業
52	M T - 1 0 4	粒 剤	カーバメイト系 7%	三 井 東 庄 化 学

Ⅰ-4. 移植本田一茎葉兼土壤処理

№	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
1	H O K - 7 5 0 5 A	粒 剤	[シメトリン]+[HOK-7501] 2.5%+0.7%	北 興 化 学 工 業
2	H O K - 7 5 0 5 B	粒 剤	同 上 1.5%+0.7%	同 上
3	H W - 3 8 C	粒 剤	[DCPA]+[ベンチオカーブ] 17%+7%	保 土 谷 化 学 工 業
4	ブ タ ク ロ ー ル	粒 剤	2-クロル-2',6'-ジエチル-N-(ブトキシメチ ル)アセトアニリド 5%	三 菱 モ ン サ ン ト 化 成
5	ブ タ ク ロ ー ル S	粒 剤	[ブタクロール]+[シメトリン] 4%+1.3%	同 上
6	C P - 1 9 H	粒 剤	[ブタクロール]+[HOK-7501] 4%+0.6%	三 菱 モ ン サ ン ト 化 成
7	M T - 2 0 4	粒 剤	[MT-101]+[カーバメイト系:MT-103]	三 井 東 庄 化 学
8	M T - 2 0 5	粒 剤	[MT-101]+[カーバメイト系:MT-104]	同 上
9	M T - 3 0 3	粒 剤	[MT-101]+[MT-103]+[CNP] 5%+7%+6%	同 上
10	M K - 6 8 9 3 G	粒 剤	[MK-6893]+[MCC]+[MCP] 1%+10%+0.5%	三 菱 化 成 工 業
11	M K - 6 8 9 3 F	粒 剤	[MK-6893]+[MCC] 1%+10%	同 上
12	S S H - 2 3	粒 剤	[トリフルラリン]+[MCPエチル] 1.4%+0.7%	塩 野 義 製 薬
13	B - 3 0 1 5 S	粒 剤	[ベンチオカーブ]+[シメトリン] 7%+1.5%	ク ミ ア イ 化 学 工 業
14	M C C - シメトリン	粒 剤	[MCC]+[シメトリン] 10%+1.5%	ス エ ッ プ 普 及 会 (日産・日農・北興)
15	S L F - 6 9 1	粒 剤	[F-1347]+[AM] 5%+0.7%	石 原 産 業
16	N H - 6 9 6 7 S	粒 剤	[2,4-ジクロルフェニルビペリジールカーボキシレー ト:NH6967]+[シメトリン] 5%+1.5%	日 本 農 薬
17	N H - 7 0 1	粒 剤	[ベンチオカーブ]+[プロメトリン] 7%+1%	同 上
18	N H - 7 0 3	粒 剤	[ベンチオカーブ]+[MCPBエチル] 10%+0.7%	同 上
19	モ リ ネ ー ト S	粒 剤	[モリネート]+[シメトリン] 6%+1.5%	オ ル ド ラ ム 研 究 会 (八州化学・ストップファ ー・トーマン・三笠化学)
20	Dowco 2 2 1	粒 剤	α-2,2,2-トリクロロエチルスチレン 2.5%	ダ ウ ・ ケ ミ カ ル

№	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
21	Dow T 701	粒 剤	[Dowco 221]+[MCP] 2.5%+0.6%	ダウ・ケミカル
22	HW-40187C	粒 剤	[3,5-ジメチル-4'-ニトロジフェニルエーテル: DMNP]+[ベンチオカーブ] 7%+7%	クミアイ化学工業 保土谷化学工業
23	HK-187	粒 剤	[DMNP:HW-40187]+[HOK-7501] 9%+0.7%	保土谷化学工業
24	NP-13	粒 剤	ジフェニルエーテル 10%	日本曹達
25	NP-16	粒 剤	[NP-13]+[MCPエチル] 10%+0.7%	同 上
26	クレダジン・ シメトリン4.5	粒 剤	[3-(2-メチルフェノキシ)ピリダジン]+[シメ トリン] 2.0%+2.5%	北海三共
27	シメトリン2.5	粒 剤	2-メチルチオ-4,6-ビス-エチルアミノ-S-トリ アジン 2.5%	ギーボン普及会
28	シメトリン・MCPB3.5	粒 剤	[シメトリン]+[MCPB] 2.5%+1%	日本化薬
29	TH-3562C	粒 剤	[TH-3562]+[TH-0631] 5%+1.5%	武田薬品工業
30	TH-3562D	粒 剤	[TH-3562]+[TH-0632] 5%+1.5%	同 上
31	モゲトン	粒 剤	2-アミノ-3-クロール-1,4-ナフトキノ	兼 商
32	PHD	粒 剤	[4,5,7-トリクロルベンズチアジアゾール2,1,3]+ [CPH] 6.3%+1.0%	北興化学工業
33	S-4159	水和剤	2,6-ジ第3ブチル-4-メチルフェニル-N-メチル カーバメイト 80%	住友化学工業
34	Z-60	水和剤	ジフェニルエーテル系 40%	石原産業
35	MT-103	粒 剤	カーバメイト 7%	三井東圧化学
36	KUE-2079A(K)	粒 剤	成分未公開 2.5%	日本特殊農薬製造
37	NTN-4570K	粒 剤	[NTN-4570]+[K] 6%+2%	同 上
38	NTN-4571	乳 剤	カーバメイト系 30%	同 上
39	NTN-4572	乳 剤	同 上 30%	同 上
40	NTN-4573	乳 剤	同 上 30%	同 上
41	CP-19M	粒 剤	[ブタクロール]+[MK-6893] 2.5%+1.5%	三菱モンサント化成
42	MT-303B	粒 剤	[MT-101]+[MT-103]+[CNP] 4%+4%+7%	三井東圧化学
43	MT-304A	粒 剤	[MT-101]+[MT-104]+[CNP] 5%+7%+6%	同 上
44	MT-304B	粒 剤	[MT-101]+[MT-104]+[CNP] 4%+4%+7%	同 上
45	B-6494	水和剤	カーバメイト系 20%	クミアイ化学工業
46	NH-704	粒 剤	[NH-6967]+[新規化合物] 5%+5%	日本農薬
47	TOC-650	粒 剤	NIP (高含量)	東京有機化学工業
48	S-5992	乳 剤	2,4-ジクロール-4'-ジアノジフェニルエーテル 20%	住友化学工業

№	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
49	N K - 1 3 8 4 9	水和剤	成分未公開 50%	日 本 化 薬
50	N K - 1 4 6 3 0	水和剤	成分未公開 50%	同 上
51	T H - 3 5 6 2	粒 剤	含窒素化合物 5%	武 田 薬 品 工 業
52	U - 1 8	粒 剤	カーバメイト系 12%	宇 部 興 産
53	P P - 4 9 3 (K 塩)	液 剤	3,5-ジクロル-2,6-ジフルオロ-4-ハイドロキシ ピリジン 20%	I C I, 日本農薬 武 田 薬 品 工 業
54	J - 3 9 2	乳 剤	成分未公開 50%	日 本 化 学 工 業
55	H Z - 5 9 1 4 G 6	粒 剤	成分未公開 6%	エー・メルク・ジャパン
56	K H - 2 2 7 7	粒 剤	成分未公開 5%	呉 羽 化 学 工 業
57	M T - 1 0 4	粒 剤	カーバメイト系 7%	三 井 東 庄 化 学

I - 5. 移植本田一適用時期拡大(体系)

№	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
1	H O K - 7 5 0 1	粒 剤	2-メチル-4-クロルフェノキシ酢酸S-エチ ル 1.4%	北 興 化 学 工 業
2	S S H - 2 3	粒 剤	[トリフルラリン]+[MCPエチル] 1.4%+0.7%	塩 野 義 製 薬
3	N I P 改 良 A	粒 剤	2,4-ジクロルフェニル-4'-ニトロフェニルエーテ ル 7%	東京有機化学工業 三 洋 貿 易
4	シメトリン 2.5	粒 剤	2-メチルチオ-4,6-ビス-エチルアミノ-S-トリ アジン 2.5%	ギ ー ボ ン 普 及 会

I - 6. 畦畔除草

№	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
1	D C M U	水和剤	3-(3,4-ジクロルフェニル)1,1-ジメチル尿素 78.5%	デュボン・ファー・ イースト・日本支社
2	A T A ・ D C M U	水和剤	[3-アミノ-1,2,4-トリアゾール:ATA]+[3 -(3,4-ジクロルフェニル)1,1-ジメチル尿素: DCMU] 37.5%+37.5%	石 原 産 業 丸 和 物 産
3	D P A	水溶剤	2,4-ジクロルプロピオン酸ナトリウム 85%	ダ ウ ボ ン 研 究 会
4	塩素酸ナトリウム	粉 剤	塩素酸ナトリウム 70%	昭 和 重 工

II - 1. 機械移植(稚苗)一土壌混和

№	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
1	B - 3 0 1 5	粒 剤	ベンチオカーブ 10%	クミアイ化学工業
2	B M - 3 0 1 5	粒 剤	[ベンチオカーブ]+[CNP] 7%+6%	クミアイ化学工業 三 井 東 庄 化 学
3	G - 3 1 5	粒 剤	2-ターシャリブチル-4-(2,4-ジクロル-5- イソプロピル-オキシフェニル)-5-オキソ-1,3,4 オキサジアゾリン 2%	日 産 化 学 工 業

№	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
4	G-315 肥料A	粒 剤	[G-315]+[N,P,K] 0.35%+(12%,28%,15%)	日 産 化 学 工 業
5	G-315 肥料B	粒 剤	同 上 0.18%+(12%,28%,15%)	同 上
6	TH-1568 A	粒 剤	2-アミノ-3-クロル-1,4-ナフトキノ ン 10%	武 田 薬 品 工 業

Ⅱ-2. 機械移植(稚苗)-移植前(後)処理

№	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
1	B-3015	粒 剤	ベンチオカーブ 10%	クミアイ化学工業
2	BM-3015	粒 剤	[ベンチオカーブ]+[CNP] 7%+6%	クミアイ化学工業 三井東圧化学
3	G-315	粒 剤	2-ターシャリブチル-4-(2,4-ジクロル-5- イソプロビル-オキシフェニル)-5-オキソ-1,3,4- -オキサジアゾリン 2%	日 産 化 学 工 業
4	CNP(7%)	粒 剤	2,4,6-トリクロル-4'-ニトロジフェニルエーテル 7%	M O 普 及 会
5	CNP(9%)	粒 剤	同 上 9%	同 上
6	NIP改良A	粒 剤	2,4-ジクロルフェニル-4'-ニトロフェニルエーテル 7%	東京有機化学工業 三 洋 貿 易
7	NIP改良B	粒 剤	同 上 12%	同 上
8	X-52	粒 剤	2,4-ジクロルフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロ フェニルエーテル 7%	石 原 産 業

Ⅱ-3. 機械移植(稚苗)-田植後

№	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
1	トリフルラリン A	粒 剤	α, α, α -トリフルオール-2,6-ジニトロ-N,N- ジプロビル-P-トリルジン 3%	塩 野 義 製 薬
2	B-3015 S	粒 剤	[ベンチオカーブ]+[シメトリン] 7%+1.5%	クミアイ化学工業
3	PCP・MCP・DCBN	粒 剤	[PCP]+[MCP]+[DCBN] 3.0%+0.8%+0.75%	トリサイド普及会 (北興・中外) 日本カーバイド
4	HW-40187C	粒 剤	[3,5-ジメチル-4'-ニトロジフェニルエーテル: DMNP]+[ベンチオカーブ:B-3015] 7%+7%	クミアイ化学工業 保土谷化学工業
5	T O P E (HE-314)	乳 剤	メタトリル-4'-ニトロフェニルエーテル 2.5%	東京有機化学工業 三 洋 貿 易
6	NTN-5006B	乳 剤	[O-エチル-O(2-ニトロ4-メチルフェニル)N- イソプロビルチオフォスホロアミデート:NTN- 5006]+[カーバメイト系] 5%+7%	日本特殊農薬製造
7	YK-4876	粒 剤	成分未公開 7%	八 州 化 学 工 業 科 研 化 学
8	Z-60	水和剤	ジフェニルエーテル系 4.0%	石 原 産 業

Ⅱ－４．機械移植（稚苗）－適用時期拡大（体系）

№	除草剤名	剤型	有効成分および含有率	取扱会社
1	B－3015S	粒剤	〔ベンチオカブ〕＋〔シメトリン〕 7%＋1.5%	クミアイ化学工業
2	MCC・MCP20	粒剤	〔MCC〕＋〔MCPエチル〕 20%＋0.7%	スエップ普及会 （日産・日農・北興）
3	MCC・MCP15	粒剤	同上 15%＋0.7%	同上
4	モリネート	粒剤	S－エチル・ヘキサヒドロ－I・H－アジピン－I－ カーボチオエート 8%	オールドラム研究会 （八洲化学・ストップパー トーマン・三笠化学）
5	PCP25	粒剤	ペンタクロルフェノール（ナトリウム） 25%	PCP協議会
6	PAM	粒剤	〔PCP〕＋〔MCPアリル〕 13.4%＋1.2%	石原産業
7	NIP改良A	粒剤	2,4－ジクロルフェニル－4'－ニトロフェニルエーテル 7%	東京有機化学工業 三洋貿易
8	シメトリン1.5	粒剤	2－メチルチオ－4,6－ビス－エチルアミノ－S－トリ アジン 1.5%	ギーボン普及会
9	シメトリン2.5	粒剤	同上 2.5%	同上
10	プロメトリン・MCPB	粒剤	〔プロメトリン〕＋〔MCPB〕 1.5%＋1%	日本化薬

Ⅲ－１．苗代－水苗代

№	除草剤名	剤型	有効成分および含有率	取扱会社
1	B－3015	粒剤	ベンチオカブ 10%	クミアイ化学工業
2	B－3015	乳剤	同上 50%	同上
3	モリネート	粒剤	S－エチル・ヘキサヒドロ－I・H－アジピン－I－ カーボチオエート 8%	オールドラム研究会 （八洲化学・ストップパー トーマン・三笠化学）
4	T O P E （H E－314）	乳剤	メタトリル－4－ニトロフェニルエーテル 25%	東京有機化学工業 三洋貿易

Ⅲ－２．苗代－保温折衷苗代

№	除草剤名	剤型	有効成分および含有率	取扱会社
1	B－3015	乳剤	ベンチオカブ 50%	クミアイ化学工業
2	モリネート	乳剤	S－エチル・ヘキサヒドロ－I・H－アジピン－I－ カーボチオエート 40%	オールドラム研究会 （八洲化学・ストップパー トーマン・三笠化学）
3	T O P E （H E－314）	乳剤	メタトリル－4－ニトロフェニルエーテル 25%	東京有機化学工業 三洋貿易

Ⅲ－３．苗代－畑苗代

№	除草剤名	剤型	有効成分および含有率	取扱会社
1	DC－55	乳剤	4－ターシャリブチル－2,6－ジメチル－3,5－ジニトロ アセトフェノン 20%	DC－55研究会
2	DCPA	水和剤	3,4－ジクロルプロピオンアニリド 50%	保土谷化学工業

№	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
3	B - 3 0 1 5	乳 剤	ベンチオカーブ 50%	クミアイ化学工業
4	M C C	水和剤	メチルN-(3,4-ジクロロフェニル)カーバメイト 40%	スエップ普及会 (日産・日農・北興)
5	T O P E (H E - 3 1 4)	乳 剤	メタトリル-4-ニトロフェニルエーテル 25%	東京有機化学工業 三 洋 貿 易

N 湛 水 直 播

№	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
1	H W - 3 8 C	乳 剤	[DCPA]+[ベンチオカーブ] 25%+10%	クミアイ化学工業 保土谷化学工業
2	B - 3 0 1 5	粒 剤	ベンチオカーブ 10%	クミアイ化学工業
3	B - 3 0 1 5	乳 剤	同 上 50%	同 上
4	B - 3 0 1 5 S	粒 剤	[ベンチオカーブ]+[シメトリン] 7%+1.5%	同 上
5	B M - 3 0 1 5	粒 剤	[ベンチオカーブ]+[CNP] 7%+6%	クミアイ化学工業 三 井 東 圧 化 学
6	モ リ ネ ー ト	粒 剤	S-エチル・ヘキサハイドロ-I・H-アジピン-I- カーボチオエート 8%	オルドラム研究会 (八洲化学・ストッファー) トーマン・三笠化学)
7	T O P E (H E - 3 1 4)	乳 剤	メタトリル-4-ニトロフェニルエーテル 25%	東京有機化学工業 三 洋 貿 易
8	H W - 4 0 1 8 7 C	乳 剤	[3,5-ジメチル-4'-ニトロジフェニルエーテル: DMNP]+[ベンチオカーブ] 20%+20%	クミアイ化学工業 保土谷化学工業
9	H W - 4 0 1 8 7 D	乳 剤	[DMNP]+[DCPA] 10%+25%	保土谷化学工業
10	X - 5 2	粒 剤	2,4-ジクロロフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロ フェニルエーテル 7%	石 原 産 業

V 乾 田 直 播

№	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
1	D C - 5 5	乳 剤	4-ターシャリブチル-2,6-ジメチル-3,5-ジニ ロアセトフェノン 20%	D C - 5 5 研 究 会
2	改 良 D C P A	乳 剤	3,4-ジクロロプロピオンアニリド:DCPA 15%	保土谷化学工業
3	D C P A	水和剤	同 上 50%	同 上
4	C - オ イ ル (D C P A)	液 剤	同 上 97%以上	同 上
5	B - 3 0 1 5	粒 剤	ベンチオカーブ 50%	クミアイ化学工業
6	B - 3 0 1 5 S	粒 剤	[ベンチオカーブ]+[シメトリン] 7%+1.5%	同 上
7	B M - 3 0 1 5	粒 剤	[ベンチオカーブ]+[CNP] 7%+6%	クミアイ化学工業 三 井 東 圧 化 学
8	G - 3 1 5	乳 剤	2-ターシャリブチル-4-(2,4-ジクロロ-5- イソプロピル-オキシフェニル)-5-オキソ-1,3,4- -オキサジアゾリン 25%	日 産 化 学 工 業

№	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
9	N C - 3 0 1	粒 剤	[PCP] + [リニユロン] 1.5% + 1%	日本カーバイド工業
10	HW-40187C	乳 剤	[3,5-ジメチル-4'-ニトロジフェニルエーテル : DMNP] + [ベンチオカーブ : B-3015] 2.0% + 2.0%	クミアイ化学工業 保土谷化学工業
11	HW-40187D	乳 剤	[DMNP] + [DCPA] 1.0% + 2.5%	保土谷化学工業
12	X - 5 2	水和剤	2,4-ジクロロフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロジ フェニルエーテル 4.0%	石 原 産 業
13	シメトリン 1.5	粒 剤	2-メチルチオ-4,6-ビス-エチルアミノ-S-トリ アジン 1.5%	ギ ー ボ ン 普 及 会
14	H W - 9 2 H	乳 剤	[DMNP] + [HW-92] 2.0% + 2.0%	保土谷化学工業

V 休 耕 田

№	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
1	2,4 PA・ATA	水溶剤	[2,4 PA-Na] + [ATA] 6.0% + 2.8%	2,4 - D 協 議 会
2	2,4 PA・ATA・DPA	水溶剤	[2,4 PA-Na] + [ATA] + [DPA] 2.7% + 1.7% + 4.1%	同 上
3	DCPA・NAC	乳 剤	[DCPA] + [NAC] 2.5% + 5%	保土谷化学工業
4	D C M U	水和剤	3-(3,4-ジクロロフェニル)1,1-ジメチル尿素 7.8.5%	デュボン・ファーマー スト 日本支社
5	ATA・DCMU	水和剤	[3-アミノ1,2,4-トリアゾール : ATA] + [DC MU] 3.7.5% + 3.7.5%	石 原 産 業 丸 和 物 産
6	N C - 3 0 5	水和剤	[トリアゾール系] + [尿素系] 5.6% + 2.7%	日本カーバイド工業
7	ATA・プロマシル	水和剤	[ATA] + [5-ブロム-3-sec-ブチル-6- メチルウラシル : プロマシル] 3 : 2	石 原 産 業
8	PCP・MCP・DCBN	粒 剤	[PCP] + [MCP] + [DCBN] 3.0% + 0.8% + 0.7.5%	トリサイド普及会
9	D B N	粒 剤	2,6-ジクロロベンゾニトリル 6.7%	兼 商
10	塩 素 酸 ソ ー ダ	水溶剤	塩素酸ソーダ 9.8.5%	昭 和 電 工 保土谷化学工業
11	塩 素 酸 ソ ー ダ	粉 剤	同 上 7.0%	昭 和 電 工

＜第2表＞ 昭和45年度水稻作関係除草剤実用化判定表

	実	実・継	継 続	継 続 ?	中 止
I-1. 移植本田→植代前混和	バラコート液 (ミズガヤツリ対象)	B-3015 粒 BM-3015 粒 G-315 粒 G-315 粉 G-315 乳 G-315肥料A G-315肥料B NIP 水和 NIP 乳	B-3015 乳 NIP 粒 バラコート液 (マツバイ対象)	NIP化成4号	TH-1568A 粒
I-2. 移植本田→移植前後処理	NIP 粒	トリフルラリンA 粒 B-3015 粒 BM-3015 粒 G-315 粒 X-52 粒	MT-201 粒 NIP改良A 粒 NIP改良B 粒		
I-3. 移植本田→移植後(10日以内)土壌処理	HOK-7503 粒 SD-11831H 粒 トリフルラリンA 粒 SLT-681 粒 [PCP・MCP・DCBN] 粒 NIP-Q改良C 粒 シメトリン2.5 粒 [シメトリン・MCPB] 粒 ダイアジン・CNP粒 ダイアジン・NIP粒	F-1347 粒 NIP改良A 粒 KH-159 粒 NTN-5006・S 粒	[S・45865・HOK・7501] 粒 UH-1801 粒 MT-203 粒 NC-310 粒 [PCP・MCP・DCBN] 粒 (ミズガヤツリ対象) NIP改良B 粒 NTN-6285AK 粒 NTN-5006K 粒 YK-4876 粒	SH-8301 粒 NC-311 粒 NIP-Q 粒 HOE-7319 粒 HOE-7319 水和	
I-4. 移植本田→茎葉兼土壌処理	HOK-7505B 粒 SSH-23 粒 Dowco-221 粒 [クレダジン・シメトリン4.5] 粒 シメトリン2.5 粒 モゲトン 粒 (ヒルムシロ対象) モゲトン 粒 (ウキクサ対象)	HOK-7505A 粒 HW-38C 粒 ブタクロール 粒 ブタクロールS 粒 CP-19H 粒 B-3015S 粒 MCC・シメトリン 粒 SLF-691 粒 NH-6967S 粒 NH-703 粒 モリネートS 粒	MT-204 粒 MT-205 粒 MT-303 粒 NH-701 粒 HK-187 粒 NP-13 粒 NP-16 粒 TH-3562C 粒 TH-3562D 粒	MK-6893G 粒 MK-6893F 粒 DowT-701 粒	

	実	実・継	継 続	継 続 ?	中 止
I-4. 移植本田 一茎葉兼土 壤処理(つづき)		HW-40187C 粒 シメトリン・ MCPB3.5 粒 モゲトン 粒 (モ類対象) モゲトン 粒 (ウリカワ対象) P H D 粒			
I-5. 移植適系 本用大 田時 一期体	水中HOK-7501 粒 SSH-23 粒 シメトリン2.5 粒		NIP改良A 粒		
I-6 畦畔除草		ATA・DCMU水和	DCMU 水和 D P A 水溶 塩素酸ソーダ粉		
II-1. 機械(稚土処 移植)和		B-3015 粒 BM-3015 粒	G-315 粒 G-315 肥料A G-315 肥料B		TH-1568A 粒
II-2. 機械(前後 移植)移 理(稚植)	CNP(7%)粒 CNP(9%)粒	B-3015 粒 BM-3015 粒 G-315 粒 NIP改良A 粒	NIP改良B 粒 X-52 粒		
II-3 機械(後 移植)移 理(稚植)	トリフルランA粒 TOPE 乳	B-3015S 粒 HW-40187C粒	NTN-5006B 粒 YK-4876 粒	PCP・MCP DCBN 粒	
II-4 機械適用 移植(稚 大体系) 一期	B-3015S 粒 MCC・MCP20 粒 モリネート 粒 P A M 粒		MCC・MCP15 粒 NIP改良A 粒 プロメトリン・ MCPB 粒 シメトリン1.5 粒 シメトリン2.5 粒	PCP25 粒	
III-1. 苗代 水苗代		TOPE 乳	B-3015 粒 B-3015 乳 モリネート 粒		
III-2. 苗代 折衷 苗代 保温			B-3015 乳 モリネート 乳 TOPE 乳		

	実	実・継	継 続	継 続 ?	中 止
Ⅲ-3. 苗代 畑苗代	DCPA 水和 B-3015 乳 MCC 水和	TOPE 乳	DC-55 乳		
N 湛 水 直 播		B-3015 粒 B-3015 乳 BM-3015 粒	HW-38C 乳 B-3015S 粒 モリネート 粒 TOPE 乳 HW-40187C 乳 HW-40187D 乳 X-52 粒		
V 乾 田 直 播	DCPA 水和	B-3015 乳 B-3015S 粒 BM-3015 粒	DC-55 乳 改良DCPA 乳 G-315 乳 NC-301 粒 HW-40187C 乳 HW-40187D 乳 X-52, 水和 シメトリン 1.5 粒	C-オイル(DCPA)	
Ⅵ 休 耕 田	ATA・DCMU 水和 ATA・プロマシル水和 PCP・MCP・ DCBN 粒 DBN 粒		2.4PA・ATA 水溶 2.4PA・ATA・ DPA 水溶 DCPA・NAC 乳 DCMU 水和 NC-305 水和 塩素酸ソーダ 水溶 塩素酸ソーダ 粉		

〔その他作用特性の解明〕

I. 普通移植

S-4159水和, X-52粒, Z-60水和, S-45865・HOK-7501粒, SH-8301粒, NC-310粒, NC-311粒, MT-103粒, MT-203粒, KH-159粒, KUE-2079A(K)粒, NTN-6285A・K粒, NTN-5006K粒, NTN-5006S粒, NTN-4570K粒, NTN-4571乳, NTN-4572乳, NTN-4573乳, YK-4876粒, HW-38C粒, プタクロールS粒, CP-19H粒, CP-19M, MT-204粒, MT-303粒, MT-303A粒, MT-303B粒, MT-304A粒, MT-304B粒, B-6494水和, NH-701粒, NH-703粒, NH-704粒, モリネートS粒, TOC-650粒, HK-187粒, S-5992乳, NP-13粒, NK-13849水和, NK-14630水和, MK-6893G粒, MK-6893F粒, TH-3562粒, TH-3562C粒, TH-3562D粒, U-18粒, UH-1801粒, PP-493液, J-392乳, HZ-5914G6粒, KH-2277粒, MT-104粒, MT-205粒

II. 稚 苗 移 植

ベンチオカーブ粒, TH-1568A粒, X-52粒, Z-60水和, G-315粒

III. 湛 水 直 播

ベンチオカーブ粒, ベンチオカーブ乳, モリネット粒, HW-40187C粒, HW-40187D乳, HW-38C乳

IV. 乾 田 直 播

HW-40187C乳, HW-92H

＜第3表＞ 昭和45年度水稻実用化除草剤使用基準一覧表

	除 草 剤 名	処 理 法	処 理 時 期	使 用 量 (製品g/a)	適 用 土 壤 (減水深)	適用地帯	使用上の注意
I-1. 移 植 本 田 ↓ 植 代 前 混 和	B-3015 粒	土 壤 混 和	植 代 時 (田植前1～3日)	400～600	砂壤土～埴土 (極端な漏水 田を除く)	温暖地以西 普通期	・コナギ多発地は 使用をさける ・混和深2～4cm ・混和時の水深 3cm以上
	BM-3015 粒	土 壤 混 和	植 代 時 (田植前1～3日)	400～600	砂壤土～埴土 (極端な漏水 田を除く)	温暖地以西 普通期	・コナギ多発地は 使用をさける ・混和深2～4cm ・混和時の水深 3cm以上 ・田植後の極端な 深水をさける
	G-315 粒	土 壤 混 和	植 代 時 (田植前1～3日)	300～400	砂壤土～埴土 (極端な漏水 田を除く)	温暖地以西 普通期	・混和時水深3cm 以上 ・混和深2～3cm
	G-315 粉	土 壤 混 和	植 代 時 (田植前1～3日)	100	砂壤土～埴土 (極端な漏水 田を除く)	温暖地以西 普通期	・混和深2～3cm ・肥料と混合して 均一散布
	G-315 乳	土 壤 混 和	植 代 時 (田植前1～3日)	24～32	砂壤土～埴土 (極端な漏水 田を除く)	温暖地以西 普通期	・混和深2～3cm ・均一散布
	G-315肥料A	土 壤 混 和	植 代 時 (田植前1～3日)	暖地・温暖地 2,000～3,000 寒地・寒冷地 3,000～4,000	砂壤土～埴土 (極端な漏水 田を除く)	普通期全域	・混和深2～3cm
	G-315肥料B	土 壤 混 和	植 代 時 (田植前1～3日)	4,000～5,000	砂壤土～埴土 (極端な漏水 田を除く)	温暖地以西 普通期	・混和深2～3cm
	NIP 水和	土 壤 混 和	植 代 時 (田植前1～3日)	60～120	壤土～埴土 (極端な漏水 田を除く)	温暖地以西 普通期	・混和深2～3cm
	NIP 乳	土 壤 混 和	植 代 時 (田植前1～3日)	120～240	壤土～埴土 (極端な漏水 田を除く)	温暖地以西 普通期	・混和深2～3cm
	パラコート 液	茎 葉 処 理 (ミズガヤツ リ対象)	耕 起 前 ミズガヤツリ 発生盛期～揃 い後	30～40	全 土 壤	田植前にミ ズガヤツリ が発生揃に なる一毛作 田	・散布後5～6日 以上たって耕起 代かきする

	除草剤名	処理法	処理時期	使用量 (製品g/a)	適用土壌 (減水深)	適用地帯	使用上の注意
I-2. 移植本田 →移植前後土壌処理	トリフルラリンA粒	土壌処理	田植後4～7日	300～400	砂壤土～埴土 [減水深が特に多くない土壌]	普通期全域 [カヤツリグサ・マツバ イ多発地帯を除く]	
	B-3015 粒	土壌処理	田植前1日および田植後1～10日 (ヒエ1.5葉以下)	300～400	砂壤土～埴土 (極端な漏水田を除く)	普通期全域	・ホタルイ、ヘラオモダカ発生地帯を除く
	BM-3015 粒	土壌処理	田植前1日	300～400	砂壤土～埴土 (極端な漏水田を除く)	温暖地以西 普通期	
			田植後1～10日 (ヒエ1.5葉以下)	300～400	砂壤土～埴土 (極端な漏水田を除く)	寒冷地以西 普通期	
	G-315 粒	土壌処理	播代～田植前1日および田植後3～7日 (ヒエ1葉以下)	300	砂壤土～埴土 (極端な漏水田を除く)	寒冷地以西 普通期	
	NIP 粒	土壌処理	田植前～田植後 (田植直前・直後を含む)	300～400	砂壤土～埴土	普通期全域	・浅水管理 ・健苗を使用すること
	X-52 粒	土壌処理	田植後3～8日 (ヒエ1葉まで)	300～400	砂壤土～埴土 (極端な漏水田を除く)	普通期全域	・健苗を使用すること
I-3. 移植本田 →移植後(20日以内)土壌処理	HOK-7503 粒	土壌処理	田植後4～8日 (寒冷地第1回中耕後)	300～400	沖積埴土～埴土 (2cm/日以下) 洪積火山灰土 (4cm/日以下)	寒冷を除く 普通期全域	
	SD-11831H 粒	土壌処理	田植後5～10日	300～400	埴土～埴土 (0.5cm/日以下)	温暖地以西 普通期	・DCBN-3に準ずる
	トリフルラリンA 粒	土壌処理	田植後4～7日	300～400	砂壤土～埴土 [減水深が特に多くない土壌]	普通期全域 [カヤツリグサ・マツバ イ多発地帯を除く]	
	SLT-681 粒	土壌処理	寒地・寒冷地は中耕後ないしはそれに準ずる時期、その他の地域は田植後4～8日	300～400	埴土～埴土 (2cm/日以下)	早期・普通期全域	
	F-1347 粒	土壌処理	田植後5～10日 (ノヒエ1.5葉まで)	300～400	埴土～埴土 (2cm/日以下)	寒冷地南部以西 普通期	
	PCP・MCP・DCBN 粒	土壌処理	田植後5～8日および第1回中耕後	300	沖積埴土～埴土 (0.5cm/日以下) 腐植質洪積火山灰土 (4cm/日以下)	全 域	・PP-12に準ずる

	除草剤名	処理法	処理時期	使用量 (製品g/a)	適用土壌 (減水深)	適用地帯	使用上の注意
I-3 移植本田→移植後(一〇日以内)土壌処理(つづき)	NIP改良A粒	土壌処理	田植後3～7日	300～400	砂壤土～埴土	暖地を除く 普通期全域	・NIP粒剤に準ずる
	NIP-Q改良C粒	土壌処理	田植後7～10日	400	埴土～埴土 (1cm/日以下)	寒地	・処理後の深水や落水をさける ・低温時の使用はさける
	シメトリン2.5粒	土壌処理	田植後5～15日	300～400	埴土～砂壤土 (極端な漏水 田を除く)	全 域	・小苗、軟弱苗のときは、処理時の深水をさける ・高温時の使用はさける
	シメトリン・MCPB粒	土壌処理	田植後5～13日 (ノビエ2葉まで)	300～400	埴土～埴土 (2cm/日以下) 砂 壤 土 (1.5cm/日 以下)	温暖地、暖地 普通期	・小苗、軟弱苗の場合は処理時の深水をさける ・著しい高温時は使用しない
	KH-159粒	土壌処理	田植後4～7日 (ノビエ1葉まで)	300～400	埴土～埴土 (2cm/日以下)	寒地を除く 普通期全域	
	NTN-5006S粒	土壌処理	田植後5～10日 (ヒエ1.5葉まで)	300	埴土～埴土 (3cm/日以下)	寒冷地以西 普通期	・ウリカワ、ホタルイ発生地帯は除く
	ダイアジノン・CNP粒	土壌処理	田植後3～6日	300～400	砂壤土～埴土	温暖地西部 以西でダイアジノンが 適応できる 地帯	・CNPの使用基準に準ずる
I-4 移植本田→茎葉兼土壌処理	ダイアジノン・NIP粒	土壌処理	田植後3～8日	300～400	砂壤土～埴土	温暖地西部 以西でダイアジノンが 適応できる 地帯	・NIPの使用基準に準ずる
	HOK-7505A粒	茎葉兼土壌 処理	田植後10～15日 (ノビエ1～2葉)	300～400	埴土～埴土 (2cm/日以下)	寒地～温暖地 普通期	
	HOK-7505B粒	茎葉兼土壌 処理	田植後10～15日 (ノビエ1～2葉)	300	埴土～埴土 (2cm/日以下)	温暖地南部 以西普通期	・高温時使用には注意する ・健苗を使用すること
	HW-38C粒	茎葉兼土壌 処理	田植後4～12日 (ノビエ1～2葉)	300～400	埴土～埴土	温暖地以西 普通期	・有機磷系殺虫殺菌剤の近接散布をさける ・処理後の湛水深を深めにする
	ブタクロール粒	土壌処理	田植後4～8日 (ノビエ1.5葉) まで	300	埴土～埴土 (2cm/日以下)	普通期全域	・広葉の多い地帯では早めに使用
	ブタクロールS粒	茎葉兼土壌 処理	田植後4～12日 (ノビエ2葉まで)	300～400	埴土～埴土 (2cm/日以下)	普通期全域	・高温時使用には充分注意する ・健苗を使用すること
	CP-19H粒	茎葉兼土壌 処理	田植後4～12日 (ノビエ2葉まで)	300	埴土～埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西 普通期(暖地を除く)	

	除草剤名	処理法	処理時期	使用量 (製品g/a)	適用土壌 (減水深)	適用地帯	使用上の注意
I-4. 移植本田 ― 茎葉兼土壌処理 (つづき)	SSH-23 粒	土壌処理	田植後4～8日 および中耕後	300～400	壤土～埴土 (3cm/日以下)	寒地・寒冷 地の平坦部 および温暖 地早・普通 期	
	B-3015S 粒	茎葉兼土壌 処理	田植後7～15日 (ノビエ2.5葉 まで)	300～400	砂壤土～埴土 (極端な漏水 田を除く)	寒地を除く 早・普通 期全域	・高温時使用には 充分注意する ・健苗を使用する こと
	MCC・シメト リン 粒	茎葉兼土壌 処理	田植後4～12日 (ノビエ2葉まで)	300	壤土～埴土 (極端な漏水 田を除く)	寒冷地南部 ～温暖地普 通期	・極端な高温時で の使用をさける
	SLF-691 粒	茎葉兼土壌 処理	田植後8～15日 (ノビエ2.5葉 まで)	300～400	壤土～埴土 (2cm/日以下)	寒冷地南部 以西で暖地 を除く普通 期(関東平 坦部は早期 を含む)	
	NH-6967S 粒	茎葉兼土壌 処理	田植後5～10日	300	壤土～埴土 (2cm/日以下)	寒地を除く 全域	・処理後の高温に 注意 ・健苗を使用する こと
	NH-703 粒	茎葉兼土壌 処理	田植後7～12日 (ノビエ2葉まで)	300	壤土～埴土 (2cm/日以下)	温暖地西部 以西普通 期	
	モリネートS 粒	茎葉兼土壌 処理	田植後7～12日 (ノビエ2葉まで)	300～400	砂壤土～埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西 早・普通 期	・マツバイの多発 地は使用しない
	Dowco-221 粒	土壌処理	田植後10日以内 (ノビエ1.5葉 まで)	300～400	壤土～埴土 (0.5cm/日 以下)	温暖地以西 の普通期で ノビエ優先 圃	・広葉・マツバイ には効果なし
	HW- 40187C 粒	茎葉兼土壌 処理	田植後6～12日 (ノビエ1～2葉)	300～400	壤土～埴土 (減水深の特 に大きくな い水田)	全 域 (但し寒地 は南部)	・処理後の深水や 落水をさける
	クレタジン・ シメトリン4.5 粒	茎葉兼土壌 処理	田植後10～ 15日 (但し寒地は田 植後5～10日)	300	壤土～埴土 (1.5cm/日 以下)	寒地～寒冷 地普通 期	・健苗を使用する こと
	シメトリン2.5 粒	茎葉兼土壌 処理 (ヒルムシロ 対象)	田植後15～ 25日 (増殖盛期まで)	200～400	砂壤土～埴土 (極端な漏水 田はさける)	全 域	・処理時の水深3 ～5cmを1週間 保つ ・高温時の使用を さける
	シメトリン・ MCPB3.5 粒	茎葉兼土壌 処理	田植後7～12日 (ノビエ2葉まで)	300～400 田植後10日ま では300g/a, 10日以降は 400g/aとする	壤土～埴土 (2cm/日以下)	寒冷地, 温 暖地普通 期	・小苗, 軟弱苗の 場合は処理時の 深水をさける
	モゲトン 粒	茎葉兼土壌 処理 (ヒルムシロ 対象)	ヒルムシロの発 生始～増殖始	300～400	砂壤土～埴土 (2cm/日以下)	全 域	・再生したときは 反覆散布する ・魚毒に注意

	除 草 剤 名	処 理 法	処 理 時 期	使 用 量 (製品 g/a)	適 用 土 壌 (減水深)	適用地帯	使用上の注意
I-4. 移植本田―茎葉兼土壌処理(つづき)	モゲトン 粒	茎葉兼土壌処理 (ウキクサ対象)	ウキクサの発生始～盛期	200～300	砂壤土～埴土 (3cm/日以下)	全 域	
	モゲトン 粒	茎葉兼土壌処理 (モ類対象)	アオミドロ、アミミドロに限る発生始～盛期	200～300	砂壤土～埴土 (3cm/日以下)	全 域	
	モゲトン 粒	茎葉兼土壌処理 (ウリカワ対象)	ウリカワの増殖初期	200～300	砂壤土～埴土 (3cm/日以下)	暖 地	
	PHD 粒	土 壌 処 理	田植後4～10日	300	・沖積埴土～埴土 (0.5cm/日以下) ・腐植質洪積火山灰土 (4cm/日以下)	・寒冷地・温暖地の普通期 ・暖地の早期	・PP-12に準ずる
I-5. 移植本田―体系処理	水中HOK-7501 粒	茎 葉 処 理 (湛 水)	分けつ中後期～幼穂形成期前 (寒地では幼穂形成期)	300～400	砂壤土～埴土 (漏水の大きいところ)	普通期全域	・MCPに準ずる
	SSH-23 粒	土 壌 処 理	移植前後の土壌処理をした場合 田植後20日まで (ノビエ1.5葉以下)	300～400	埴土～埴土 (3cm/日以下)	寒冷地平坦部普通期	
	シメトリン2.5 粒	土 壌 処 理	移植前後の土壌処理をした場合 田植後25日まで (ノビエ2葉以下)	300～400	砂壤土～埴土 (極端な漏水田を除く)	寒地・寒冷地	
I-6. 畦畔除草	ATA・DCMU 水和	茎葉兼土壌処理	雑草生育初期	400～600	埴土～埴土	全 域	・のり面散布をさける ・流入による薬害のおそれがあるので十分考慮する ・稲体にかからないように散布する
II-1. 機械土壌混和(稚苗処理)	B-3015 粒	土壌混和処理	植 代 時	400～600	砂壤土～埴土 (極端な漏水田はさける)	温暖地西部以西	・コナギ多発地を除く ・混和時水深3cm以上
	BM-3015 粒	土壌混和処理	植 代 時 (田植3～1日前)	400～600	砂壤土～埴土 (極端な漏水田はさける)	温暖地以西	・コナギ多発地を除く ・混和時水深3cm以上
II-2. 機械移植前後処理	B-3015 粒	土 壌 処 理	田植前4～1日	300	砂壤土～埴土 (極端な漏水田はさける)	寒地を除く 全域	
			田植後4～10日 (ノビエ1.5葉まで)	300～400			

	除草剤名	処 理 法	処 理 時 期	使 用 量 (製品g/a)	適用土壌 (減水深)	適用地帯	使用上の注意
II-2. 機械移植 (稚苗)→移植前後処理 (つづき)	BM-3015 粒	土 壤 処 理	田植前4～1日 田植後4～10日 (ノビエ1.5葉 まで)	300 300～400	砂壤土～埴土 (極端な漏水 田はさける)	寒地を除く 全域	
	G-315 粒	土 壤 処 理	田植後5～7日 (ノビエ1葉まで)	300	壤土～埴土	寒冷地以西	
	CNP 粒 (7%)	土 壤 処 理	田植前1日 ～田植直後	300～400	砂壤土～埴土	全 域	・深水での使用を さける
	CNP 粒 (9%)	土 壤 処 理	田植前3日 ～田植後5日	300	砂壤土～埴土	全 域	・深水での使用を さける
	NIP改良A 粒	土 壤 処 理	田植前2～3日 田植後3～5日	300～400	砂壤土～埴土 (極端な漏水 田を除く)	寒冷地南部 以西	・NIPに準ずる
II-3. 機械移植 (稚苗)→移植後処理	トリフルラリンA 粒	土 壤 処 理	田植後5～10日	300～400	壤土～埴土	寒冷地南部 ～温暖地	・ノビエ地帯を対 象とする
	B-3015S 粒	茎葉兼土壌 処理	田植後8～15日 (ノビエ2.5葉 まで)	300	壤土～埴土 (漏水の特に 大きくない 土壌)	全 域	・水稻活着後に使 用すること ・高温時の使用を さけること
	HW-40187C 粒	茎葉兼土壌 処理	田植後7～15日 (ノビエ1～2 葉まで)	300～400	壤土～埴土 (極端な漏水 田を除く)	温暖地以西	
	TOPE 乳	土 壤 処 理	田植同時～ノビ エ2葉まで (田植後10日)	120～200	砂壤土～埴土	寒地を除く 全域	・混水は適度に保 持する(3cm)
II-4. 機械移植 (稚苗)→適用時期拡大 (体系)	B-3015S 粒	茎葉兼土壌 処理	移植前後の土壌 処理をした場合 田植後25日 (ノビエ2.5葉 以下)まで	300	壤土～埴土 (漏水の特に 大きくない 土壌)	寒 冷 地	・高温時の使用は さける
	MCC・ MCP20 粒	茎葉兼土壌 処理	移植前後の土壌 処理をした場合 田植後25～30日 (水稻6葉期 ノビエ2葉以下)	300	壤土～埴土 (3cm/日以下)	寒地・暖地 を除く全域	
	モリネート 粒	土 壤 処 理	田植後～ノビエ 2葉までおよび 田植前2～3日	300～400	砂壤土～埴土	寒冷地北部	・ノビエ・マツバ イを対象とする
	PAM 粒	土 壤 処 理	移植前後の土壌 処理をした場合 田植後25～30日	300～400	全 土 壌 (極端な漏水 田を除く)	寒 冷 地	
III-1. 水苗代	TOPE 乳	播種後 茎葉 兼土壌処理	ノビエ1～2葉	160～200	壤土～埴土	寒地を除く 全域	・漏水の大きいと ころはさける
III-2. 苗代→畑苗代	DCPA 水和	茎 葉 処 理	ノビエ1～2葉	40～60	全 土 壌	全 域	・有機燐剤、カー バメイト系殺虫 剤との近接散布 をさける
	B-3015 乳	土 壤 処 理	播種直後～2日	60～80	砂壤土～埴土	寒地を除く 全域	

	除草剤名	処理法	処理時期	使用量 (製品g/a)	適用土壌 (滅水深)	適用地帯	使用上の注意
Ⅲ-1. 苗代・畑苗代 (つづき)	MCC 水和	土壌処理	播種直後～出芽 前期	75～100	全土壌	全域	・有機燐剤 カー バメイト系殺虫 剤との近接散布 をさける
	TOPE 乳	土壌処理	出荷後～出芽期 (ノビエ1葉)	80～120	壤土～埴土	寒冷地～温 暖地	・ビニール畑苗代 にかさる
	B-3015 粒	茎葉兼土壌 処理	播種後15日前後 (イネ1.5葉期) (ノビエ1～2葉)	300～400	壤土～埴土 (2cm/日以下)	温暖地西部 以西	・深水での使用は さける
	B-3015 乳	茎葉兼土壌 処理	播種後15日前後 (イネ1.5葉期) (ノビエ1～2葉)	60～80	壤土～埴土 (2cm/日以下)	温暖地西部 以西	・深水での使用は さける
	BM-3015 粒	茎葉兼土壌 処理	播種後20～30日 (イネ3～5葉期) (ノビエ1.5葉以下)	300～400	壤土～埴土 (2cm/日以下)	温暖地西部 以西	・播種前後の前処 理剤を使用する ことが望ましい
Ⅴ 乾 田 直 播	D CPA 水和	茎葉処理	イネ科2～3葉期	50～60	砂壤土～埴土	全域	・D CPA乳剤に 準ずる
	B-3015 乳	茎葉兼土壌 処理	播種後15日前後 (イネ1.5葉期) および播種直後	60～100	砂壤土～埴土 (極端な漏水 田を除く)	温暖地以西	・広葉雑草の少な いところ ・散布直後に降雨 が予想されると きはさける
	B-3015S 粒	茎葉兼土壌 処理	入水後1日～ノ ビエ2葉まで	300～400	砂壤土～埴土 (極端な漏水 田を除く)	温暖地以西	・入水後に漏水が とまってから散 布する ・高温時の使用は さける
	BM-3015 粒	茎葉兼土壌 処理	入水後1日～ノ ビエ1.5葉まで	300～400	砂壤土～埴土 (極端な漏水 田を除く)	温暖地以西	・入水後漏水がと まってから散布 する
Ⅵ 休 耕 田	ATA・DCMU 水和	茎葉兼土壌 処理	雑草生育初期 (4～7月)	40～60	全土壌	全域	・隣接圃場への飛 散流入については 厳重に注意する
	ATA・ プロマシル 水和	茎葉兼土壌 処理	雑草生育初期 (4～7月)	40～60	全土壌	全域	・ATA-DCMUに 準ずる
	PCP・MCP・ DCBN 粒	土壌処理 (湛水散布)	代かき後雑草発 生前～始期 (4～7月)	600～900	全土壌	全域	・隣接圃場への流 入については厳 重に注意する
	D B N 粒	土壌処理	代かき後雑草発 生前～始期	400～600	全土壌	全域	・隣接圃場への流 入については厳 重に注意する ・土壌混和が望ま しい